

平成24年3月7日

滝沢村長 柳村 典秀 殿

滝沢村交流拠点複合施設検討委員会

(代表) 委員長 狩野 徹



滝沢村交流拠点複合施設検討委員会提言書

滝沢村交流拠点複合施設検討委員会は8名の委員で構成し、平成23年8月5日から3月7日までの計5回に渡り、滝沢村交流拠点複合施設基本計画について審議してきたものです。

住民説明会での意見や他施設についての検証内容、作業部会でのワークショップ内容などを居室カルテとして具体化し、さらにこの委員会での議論を踏まえ基本計画としてまとめられたもので、その内容は大変評価できるものです。

一方、これは基本計画であり、それを設計に反映させることはもちろんのこと、複合施設の適正な利用に引き継がれてこそ施設の目的が達成されるものがあります。

以上のことを踏まえ、この施設がより多くの村民に利用されることを願い、次の提言をいたします。

1. 人が集まり利用率の高い施設を実現するために、居室カルテ内容が最大限活かされるよう設計するとともに、時代とともに変遷する利用者ニーズに対応できるよう、施設内容に一定の汎用性を確保しつつ、施設運営委員会等の設立により効果的に機能させられたい。
2. 拠点・交流施設を標榜するこの施設にとって、高齢者を中心として、村内各地からの公共交通は必要欠くべからざるものである。
また、各地域の施設にはそれぞれの特色と役割があり、それらとの棲み分けがなされることで、複合施設の拠点性がより活かされたいと考える。
3. これからの施設として、利用者本位のユニバーサルデザイン、寒冷地がゆえの配慮、省エネや避難所機能などのモデル施設を目指されたい。
4. 与えられた面積と予算額の中で、ランニングコストに配慮しつつ、住民にとっての使い勝手の良い施設を建物と運営の両面で実現されたい。
5. 滝沢村の自然の豊かさは村民の財産であり、その調和とその豊かさを体現できる施設とされたい。

また、周辺施設と連携しつつ、観光客なども訪れ、滝沢村を活性化できる施設とされたい。